

こんにちは！ 日本共産党の **好きです！ 憲法9条**

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2011年10月7日 No.199
〒319-1112
東海村村松2401-2
oona_toukai@yahoo.co.jp
電話・ファックス 029-284-0761

航空観閲式(10/16)に伴う

本村上空を含む飛行訓練に怒りの声広がっています

防衛省は、自衛隊記念日行事の一環として、10月16日(日)に航空自衛隊百里基地(小美玉市)で、平成23年度航空観閲式を行うとし、すでに事前訓練の航空機飛行が、本村上空も含め行われています。

村民からは、騒音等による驚きとともに、多数の原子力関連施設が立地する本村上空飛行に対する怒りの声広がっています。

茨城県は、平成13年11月の政府要請以来一貫して、原子力発電所周辺上空の航空機の飛行禁止を求めています。

しかし、本村は、東西、南北ともに7.9km、総面積37.48km²と小さな自治体にもかかわらず、原子力発電所をはじめ、原子力研究開発機構や原子燃料製造会社等、核物質を取り扱う事業所が多数立地しています。全村にわたり上空の航空機飛行の危険性は火を見るより明らかです。

村は、防衛省および茨城県に対し、航空観閲式にともなう東海村上空の飛行は極めて危険であることを主張し、中止するよう明確に申し入れられるべきです。

NHK放映の

10月12日省庁交渉に南台団地の方々と参加

日本共産党の国会・茨城地方議員団は、12日、省庁交渉を行います。今年は、東日本大震災を受け、救援・復興に関する要望が多くなっています。

東海村からは、1つには、東電福島第1原発事故の早期収束と放射能汚染の除去、原電東海第2原発の再稼働を認めず廃炉にすることを求めます。2つには、南台団地の滑動崩落等による宅地被害への支援を求めます。12日には、南台団地の方々も参加し、国土交通省に直接訴えることにしています。



2011年9.30茨城集會に210人余が参加

10月1日石神コミセンで開かれた「JCO臨界事故を忘れない、原子力事故をくりかえさせない9.30茨城集會」は、12年目を迎えました。東海村が初めて後援し、初めて首長(かすみがうら市長)さんのあいさつがありました。かすみがうら市長さんは、「県民は原電東海第2を運転再開させてはならない、と声をあげていくべきだ。一致団結して再開を止めよう」と、連帯のごあいさつを述べられました。

あさイチでも紹介

滑動崩落の危険性

山を切り崩して、谷を埋めたてて造られた造成住宅地では、滑動崩落が起こる危険性があるといわれています。地盤の補強は、谷に埋め立てられた盛り土全体を補強する必要があり、大規模な工事になります。一度滑動崩落した所は、地盤の補強工事を行わない限り、新たに家は建てることは難しいといわれます。

大豊プラントの建設工事差し止めを求める仮処分申請から3年7ヶ月

いよいよ12日(水)、裁判所の決定が出ます！

【記者会見】 午後4時から、水戸翔合同法律事務所

【決定報告会】 午後6時30分から、東海村中央公民館
ぜひ、ご参加ください。

